エゾリス

会 報 第 104 号

エゾリスの会は、1986 年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆連載開始！　うっちーさんのエゾリス観察ルポ　①プロローグ

☆エゾリスの会ホームページができました。

連載開始！　うっちーさんのエゾリス観察ルポ　①プロローグ

※これから、このコーナーではエゾリスの生態研究を行っている北大生、内田健太さんから届いた旬な情報（研究や観察で考えたことなど）を連載します。お楽しみに！

自己紹介♪

　はじめまして、北大　環境科学院　動物生態学研究室所属の内田健太と申します。

　私は現在、ここ十勝でエゾリスの生態に関する研究をしています。所属は北大ですが、調査期には、畜大の野生生物管理学研究室のお世話になりながら、十勝のエゾリスを追いかけています。

きっかけ♪

　2013 年秋にモニ 1000 への参加をきっかけに、エゾリスの会に入会させて頂きました。

　今回は、僭越ながら私が興味をもち取り組んでいる研究テーマに関して少し紹介をさせて頂きます。

都市の環境♪

　『都市の環境』と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？

　無生物・コンクリート・無味乾燥。生き物好きであれば是非とも目を背けたい場所ではないでしょうか。

　そして、鳥のさえずりよりも車の騒音、草花の香りよりも排ガスや下水の匂い、都会は本来の自然とは遥かにかけ離れた環境になっています。実際、都市化によって生物たちは絶滅に追い込まれています。

　お洒落な女の子を探しに行く人は大勢いても、生物図鑑を持って町に繰り出す人は少ないでしょう。

都会の生き物の暮らし♪

　しかし都会には、我々の気付かない所で様々な生き物が暮らしています。そうした生き物は、我々の想像を超えた方法で、都会という人間が作り出した過酷な環境で生きていることが最近になって分かってきました。

強かに生きる都市のエゾリス

生き様に焦点を当てる♪

　野生生物の研究と言ったら、これまで人間活動は絶対悪として扱うことが多かったです。これに対して、私は逆に人間の作り出した環境に対して巧みに適応する生物たちの『**生き様**』に焦点を当てたいと考えました。

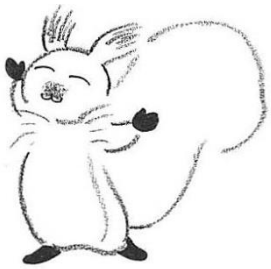
生き物の逞しさに感動♪

　だって、感動するんです。人間が行う、自然の摂理に反した急激で極端な自然破壊にもあの手この手で対応していく。そんな生き物の逞しさには、もしかしたら我々が今まで見たことのなかった生物の不思議が隠されているかもしれません。私は、札幌や帯広にも適応しているエゾリスを通じて、愛くるしさの裏にある強かさの謎に迫っていきたいと考えています。

ワクワクを共有したい♪

本コーナーでは、研究を通して発見したエゾリスの不思議や調査で感じたことを書いていきたいと思います。生き物を通じて皆さんとワクワクを共有できたらと思います。よろしくお願いいたします！早速ですが、次回は“えっ、こんなに近いの!?”と題して、人間とエゾリスの距離についてお話する予定です。

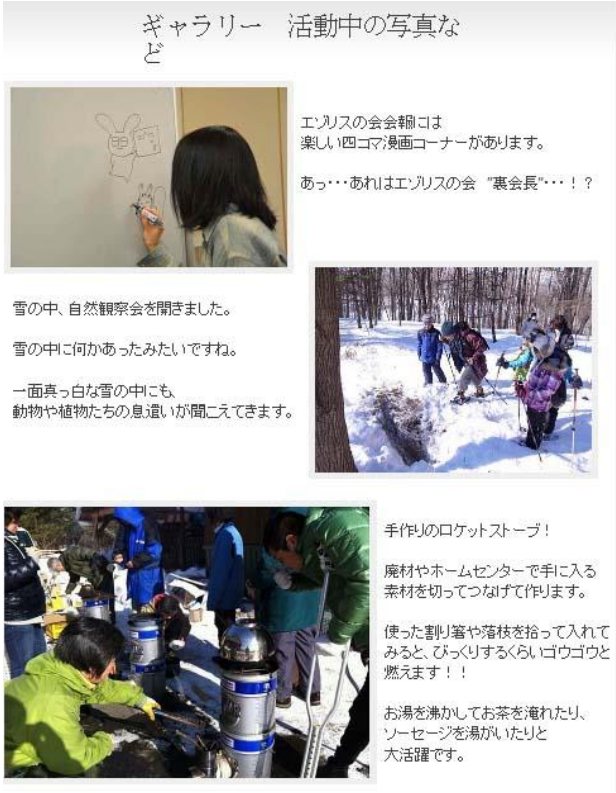
うっちーさんは研究熱心かつユーモアのあるナイスガイです。
エゾリスの会の活動にも日程が合えば参加したいそうなので、直接いろいろ聞いてみてもいいかも。



☆エゾリスの会ホームページができました！

アドレス： http://ezori3.wix.com/ezori

エゾリスの会のホームページができました。まずは基本的な情報を載せてあります。これからコンテンツを充実させながら、会の活動や魅力、資料を蓄積していきながら、エゾリスの会をより多くの人に知ってもらえたらと思います。まずはアクセスしていただき、感想をお寄せいただけたらと思います。今後の活動に生かしていけるようなページづくりが出来るといいなと考えています。



ホームページを充実させて、活用するのは私たちです。日々の活動紹介、行事案内等も更新していきたいですね。また非公式ブログも健在ですので、よろしくお願いします。

帯広の森 40 周年に思う

坂村堅二

帯広の森づくり 40 周年ティーチ・インが
11 月 30 日に開催されました。

帯広の森が造成され始めてから 40 年が経った。

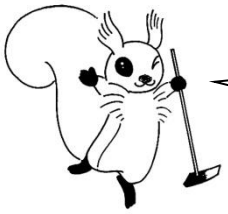
初めに植樹が行われ、木の成長とともに徐々に森らしくなった場所もあるが、森と呼ぶには寂しい場所も少なからず点在していることも事実である。

植樹を行って放っておけば勝手に森になると考えている人もいるかもしれないが、残念ながらそんな簡単なものではない。

森をよく観察をしながら、物言わぬ森からのメッセージを感じとり、必要と思われる手入れを行っていくことが重要だ。

生物調査を定期的に実施することや間伐、外来植物の除去など、やることは腐る程ある。

我々人間は 100 年後の森の未来を見届けることはできないが、その一つひとつの年輪を重ねることはできる。しっかりした年輪が刻めるように 40 年から 50 年の区切りに向けてやれることをやっていこうと思う。



もうすぐ春。4 月からはモニ 1000 もカエル調査からスタートです。でもその前に 3 月の里山 P は間伐ですよ。力のいる作業です。頑張ってね！

エゾリスの会　会報 104 号　発行日：20152.25
発行 エゾリスの会（事務局）
〒080-0027　帯広市西 17 条南 3 丁目 6－14
☎0155-33-4223
E-mail　mikka-1@octv.ne.jp
ホームページ　http://ezori3.wix.com/ezori
非公式ブログ　http://d.hatena.ne.jp/noken/

編集後記

最近よく考える。人間の自然環境に与えるインパクトは破滅的に大きい。人間が生きるためにここまで改変する必要があるのだろうか？元々、人間はもっと森や自然と共存して生きられる賢く、強い動物ではなかったか？「足るを知る」これが最近の自分の生きるテーマです。（さか）

エゾリス

会 報 第１０５ 号《印刷はモノクロ》

エゾリスの会は、1986 年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

うっちーさんのエゾリス観察ルポ ②

《北大　環境科学院　動物生態学研究室所属　内田健太》

「えっ、都市のリスってこんなに近いの!? 」

エゾリスの会の新 H.P ができましたね、とても楽しそうです。

さて、今回からエゾリス研究で分かってきたことを少しずつ紹介させて頂きます。早速ですが皆さん、『6m、19m』この距離が何を表しているか分かりますか?おそらく、6m は普段皆さんが無意識のうちに体感している数値なんですよ。

写真を撮っている人との距離近い！
（場所：緑ヶ丘公園）

これらは、帯広の町(公園)のリスと郊外(森)のリスを対象に、人間が近づくことができる距離を表した数字なんです。

“逃避開始距離”といって、餌を食べている地上のリスに近づいて逃げた時の距離を測っています。

公園のリスは平均して、約 6m まで近づくことができることが分かりました。

しかも、これは平均であって緑ヶ丘公園などでは 2m まで近づいても逃げないリスが多いです。むしろ、向こうから近づいてくるリスも・・・。

「何を今更～近づけることなんて知ってるよ～」と思われる方もいらっしゃるかと思います。

でも、感覚では分かっていることを、こうして数値化してみると実は様々なことが分かってきます。

例えば、森のリスは 19m 先から一目散に逃げ、その距離は町のリスの３倍以上。

しかも郊外には、私が発見する前から逃げてしまっているような、とっても敏感で警戒心が高いエゾリスがたくさんいました。

つまり、実は本来エゾリスは非常に警戒心が高く、人間や天敵から隠れるように生活していたことが推測されるのです。都市のリスのじつに図々しことよ…

そして、実は都市のエゾリスの警戒心には、もう少し奇妙な変化がみられるのですが…その話は次回にします。

望遠レンズで撮っていますが、警戒しています
（場所：帯広の森）

２０１５年度の事業計画です

１．自然と触れ合う事業

ａ）自　然　観　察　会　　２回開催

第１回「売買川を歩こう」　　と　き：２０１５年6月２０日（土）８：００

《売買川で、夏至祭》　　ところ：畜大西側売買川

第２回「秋の観察会」　　と　き：２０１５年１１月１５日（日）

≪たき火ワークショップ≫　　ところ：計画中

ｂ）動植物を考える他団体との連携

・地域生態系研究会との調査についての連携

・ログハウスの周辺整備

・共同観察会の開催

２．調　査　事　業

ａ）エゾリス生息マップの作成（帯広市内）継続事業

シマリス情報の収集・道路横断の実態・緑ヶ丘公園の生息マップ作成

ｂ）帯広市委託調査（帯広の森の小動物の生息調査）

＊エゾリス分布調査

調査月日：《春》　５月２３日（土）６：３０集合　　５月３１日（日）６：３０集合

《秋》１０月２５日（日）６：３０集合　１０月３１日（土）６：３０集合

集合場所：帯広の森・はぐくーむ　駐車場

＊チョウセンゴヨウ松の結実調査　　帯広の森内（秋の調査時１０月２５日）

＊エゾリスの冬の巣調査　　１１月１５日（日）７：００集合

場所：帯広の森　昭和　　年植樹区

ｃ）表土まきだし調査（帯広の森）　　手入れ

３．（財）日本自然保護協会主催の「モニタリングサイト１０００」事業

帯広の森内で、鳥類調査、植物調査、チョウ類調査、哺乳類、カエル

調査データを活用して、帯広の森管理プラン作成に利用する

４．エゾリスの会広報事業

ａ）会報の発行　４回発行

ｂ）エゾリスの会リーフレット作成

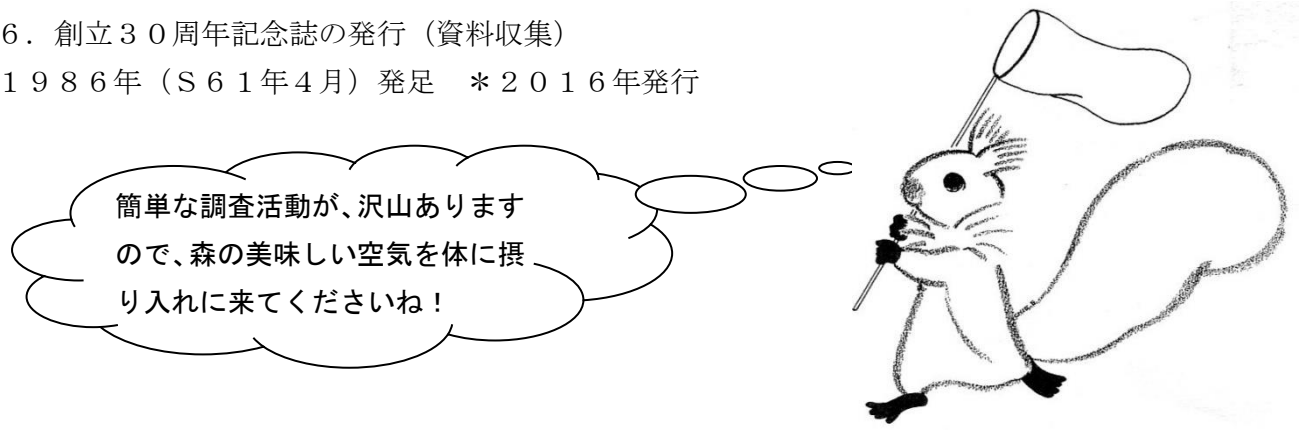
５．里山をつくろうプロジェクト

・２０１５年6月から月１回

・間伐、草刈り等　　・園路沿いの池の泥上げ

６．創立３０周年記念誌の発行（資料収集）

１９８６年（Ｓ６１年4月）発足　＊２０１６年発行



エゾリスの会2015年度収支予算書です

単位：円

	14年度決算額	15年度予算額	増　　減	備　考
収入の部	840,583	960,000	119,417	
支出の部	333,654	960,000	626,346	
次年度繰越金	506,929	0		

収入の部　　単位：円

科　目	14年度決算額	15年度予算額	増　　減	備　考
1　会費	30,000	37,000	7,000	会員数50名
個人会員	14,000	17,000	3,000	34名
家族会員	11,000	15,000	4,000	15名
賛助会員	5,000	5,000	0	1会員
2　受託料	299,990	299,990	0	帯広市
3　事業収入	1,800	5,000	3,200	観察会参加費
4　雑収入	1,500	931	△ 569	謝礼、寄付金等
5　預金利息	135	150	15	
7　繰越金	387,178	506,929	119,751	
8　繰入金	100,000	100,000	0	
9　補助金等	19,980	10,000	△ 9,980	
総　額	840,583	960,000	119,417	
＊　預り金	4,000	0	△ 4,000	前納会費

支出の部　　単位：円

科目	14年度決算額	15年度予算額	増　　減	備　考
1　事務費	90,777	140,000	49,223	
消耗品費	35,842	50,000	14,158	コピー代、ラベル用紙、封筒等
写真プリント費	0	10,000	10,000	記録用
通信費	30,280	40,000	9,720	会報郵送費、切手、はがき
会議費	24,655	40,000	15,345	総会費、例会費
2　事業費	167,877	300,000	132,123	
印刷費	80,352	120,000	39,648	会報印刷費（一部カラーページにする）
観察会費	7,476	30,000	22,524	保険料、資料等
パネル制作費	0	20,000	20,000	写真パネル等
他団体活動費	0	10,000	10,000	百年記念館友の会会費等
里山P費	80,049	120,000	39,951	保険料、資材費、チラシ印刷
3　調査費	75,000	150,000	75,000	
機器購入費	75,000	100,000	25,000	調査機器等
報告書作成費	0	30,000	30,000	印刷費等
調査費	0	20,000	20,000	調査関係費、資材費等
4　雑費	0	25,000	25,000	手数料等、
5　予備費	0	280,000	280,000	
6　広報活動費	0	60,000	60,000	リーフレット作成費
7　前払い費	0	5,000	5,000	
総　額	333,654	960,000	626,346	

里山プロジェクト費収支予算書（里山P費内訳）

科目	14年度決算額	15年度予算額	増　　減	備　考
保険料	46,950	50,000	3,050	
資材購入費	25,992	30,000	4,008	土壌改良材、のこぎり替刃等
印刷費	0	15,000	15,000	チラシ印刷
会場借上費	0	5,000	5,000	新年会会場費
雑費	7,107	20,000	12,893	
合　計	80,049	120,000	39,951	

会費の納入についてのお願い

２０１５年度の会費の納入を受付けておりますので、よろしくお願いいたします。

当会は、皆様の貴重な会費で運営しておりますので、なるべく早い機会に収めていただければ幸いです。

〈封筒のお名前の下の番号が納めていただいている年度です。

例：１４Ａは２０１４年度個人会員、
１４Ｂは２０１４年度家族会員、
１４Ｃは２０１４年度賛助会員です

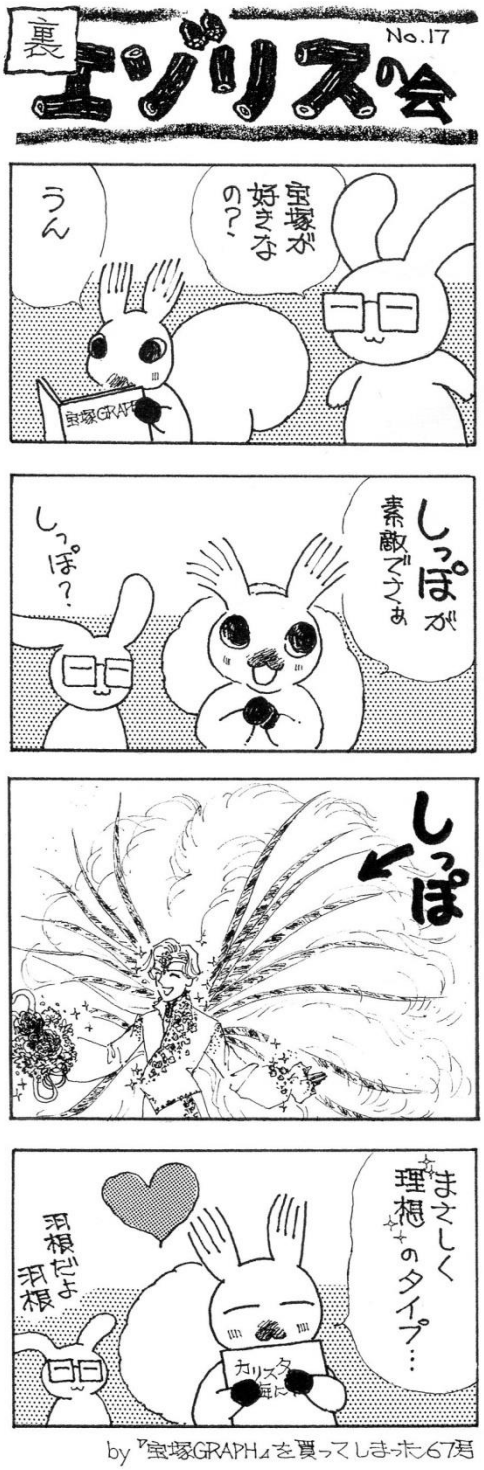
【会員規定】

１．会費を納入することによりエゾリスの会会員となる。
２．会員となることにより、優先的に会の事業への参加、備品の使用が行える。
３．２年間会費を納入しなければ退会したものとみなす。

【会費区分】

個人会員（A）　　５００円
家族会員（B）　１，０００円
賛助会員（C）　１，０００円（１口）
２口以上でお願いいたします。

【納入方法】　・十勝・帯広の方は、同封致しました振込み用紙により帯広信用金庫本支店から振り込んでいただきますと手数料が無料となりますのでご利用ください。
・郵便局からは、郵便振替でお願い致します（手数料はご負担願います）。
振替口座番号：０２７１０－５－４６１６
振替口座名　：エゾリスの会



by『宝塚GRAPH』を買ってしまった67歳

編集後記

現編集長が都合で今号に携わることができず、元編集長が作成しましたが、やはり「おじんくさい」内容になりました。スリムのジーンズを穿いてもだめかなア～！　次号を期待してくださいね。

エゾリスの会　会報 105 号　発行日 2015.05.20
発行：エゾリスの会（事務局）
〒080-0027　帯広市西 17 条南３丁目６－１４
☎０１５５－３３－４２２３
Ｅ－mail：　mikka-1@octv.ne.jp
ホームページ　http://ezori3.wix.com/ezori
非公式ブログ　http://d.hatena.ne.jp/noken/

エゾリス

会 報 第 106 号《印刷はモノクロ》

エゾリスの会は、1986 年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆うっちーさんのエゾリス観察ルポ ③特別編 フィンランドのリスを訪ねて

フィンランドの公園では様々な野生生物と触れ合うことができます。

☆売買川自然観察会を今年もやりました。 夏至祭のようなものも・・・

うっちーさんのエゾリス観察ルポ ③特別編 フィンランドのリスを訪ねて

※このコーナーではエゾリスの生態研究を行っている北大生、内田健太さんから届いた旬な情報（研究や観察で考えたことなど）を連載しています。

フィンランドに行ってきた♪

北の大地の短い夏が終わり、これから早くも冬越しに向けた採餌に忙しい季節がやってきますね。

さて、今回は特別編として日本を離れ、フィンランドの話しをいたします。

実は 6 月にフィンランドで開催された『国際樹上性リス会議』という国際学会で発表をして来ました。約 10 日間毎日のように海外の研究者とリスについて語り、フィールドへ訪問したりと夢のような時間でした。そこで学んだ、フィンランドのリスや世界のリスを取り巻く情勢についてお話します。

エゾリスの仲間はフィンランドにも

皆さん、エゾリスとはユーラシア大陸北部に広く分布するキタリスと同じ種（厳密には亜種）であることを知っていますか？そのため、フィンランドでもエゾリスと同じ種のリスに出会えるんです。

しかし、エゾリスよりも体が赤く、小さく幼い顔立ちをしているなど様々な違いがあります。何がこのような違いをもたらすのか…不思議です。

ただ、やはり同じ種なだけあり愛くるしい仕草、針葉樹の森や都市の公園で見かけることができる点などエゾリスと似ている部分が多くありました。

.キタリス（Eurasian red squirrel）

餌付けも行われているけど、市民が調査をしています

また、人間を見つけると一目散に近寄ってくるリス（たくさん餌付けされているのでしょう）、大きな都市にもたくさんのリスが進出していることなど、人間とリスの関係性も北海道におけるそれと類似していました。

そして、フィンランドの人たちはリスを身近に触れ合うことのできる哺乳類として大事にしている印象を受けました。確かに、過剰なほど餌付けをしている場所もあります。その一方で、市民と大学とが連携してリスやモモンガを対象に長期にわたり調査を行い、土地開発の影響などをしっかりと調べています。

エゾリスの会を始めとした帯広の人たちや、フィンランドの人たちのこうした活動がリスたちの生活する環境の保全に大きく繋がっている気がします。

学会でもリスの保全がメインテーマに

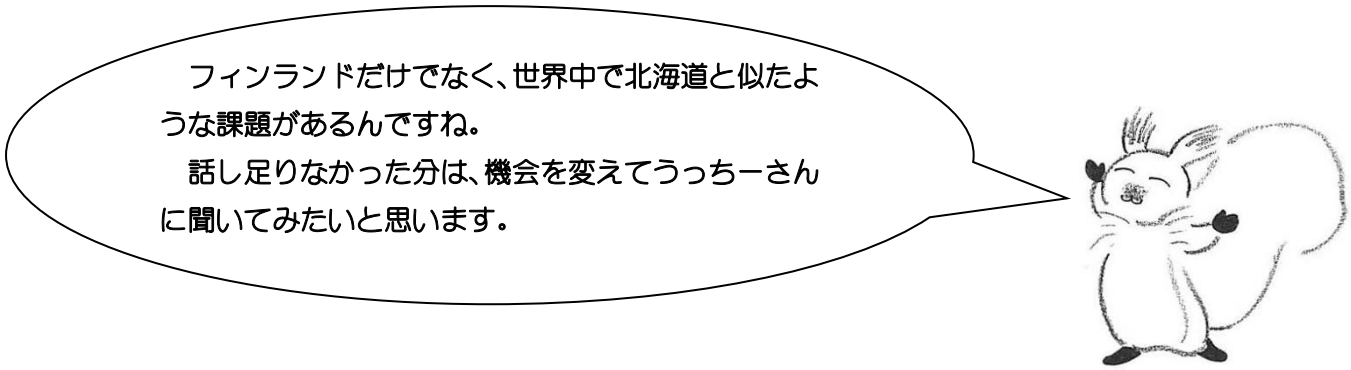
世界中で、多くのリス科が外来種や温暖化、森林伐採など影響を受けています。今回の学会でも半数以上が、保全に関しての発表でした。

北海道のエゾリスでは想像のつかない事態が他のリスたちを取巻いているそうです。エゾリスも何時同じような状況に陥るか分かりません。リスを始め、人間と野生生物が共存することができる環境作り（私の場合は基

.餌付けされるキタリス

礎研究の蓄積かな）を、今から行って行くことの重要性を強く感じました。まだまだ話し足りないですが、ここまでとします。

今回の学会では、帯広のエゾリスに関する研究発表を行うことができました、いつか皆様にもお話で来たらと思います。



☆売買川自然観察会(夏至祭？)報告

6 月 20 日（土）、昨年に引き続き帯広市稲田町の売買川の河畔林において、エゾリスの会主催の自然観察会を行いました。

当日は夏らしい眩しい日差しが照りつけ、ドロノキの綿毛がフワフワと飛び交う中、会員以外の方を含め、15 名ほどの参加がありました。

帯広畜産大学西側の参考林横に集合、売買川沿いの河畔林の中の道をゆっくりと歩きます。昨年は時間が足りず、たどり着けなかった十勝坊主（数千年前の寒冷な時期に氷の圧力で土が変形して形成された直径 1～1.5 メートル、高さ 0.5～1 メートルの半球状の化石構造土といわれるもので、北海道天然記念物に指定されている）を見ることができました。

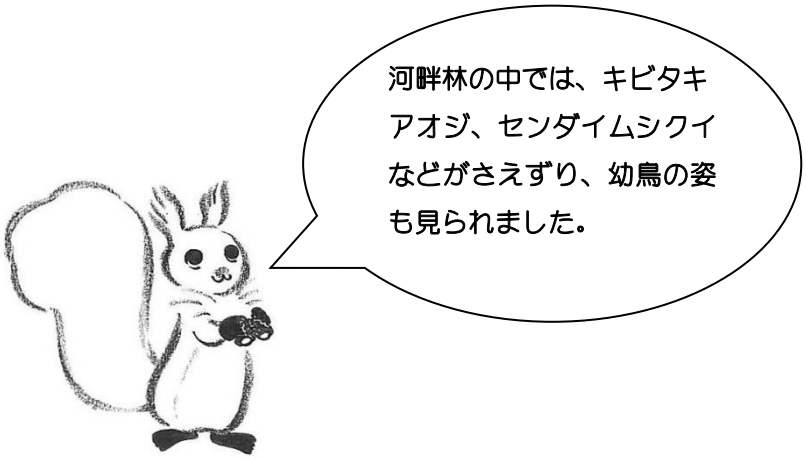
一時間半ほどで観察は終了。集合場所に戻り、夏至祭（ただの打ち上げ？）を行います。エゾリスの会ではもう恒例となったロケットストーブを使ってポップコーンやマシュマロを火にかざして食べながら団欒しました。

昨年は西洋風にホットドッグを食べましたが、今年は和風も交えて、和菓子やお餅を加え、さらにソーセージやチーズなどを炭火で燻製にして楽しみました。

十勝坊主を散策

.モイワサナエがいました

.夏至っぽいものを食べました



ついにオオアワダチソウに優勢勝ち？！

坂村堅二

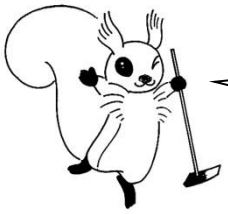
オオアワダチソウ群落に代わって在来種が目立つようになってきました。

７月５日の里山をつくろうプロジェクトの作業は除草（主にオオアワダチソウ）だった。場所は航空法伐採地の「植生調査中」の看板が立ち、ロープで囲った一角である。ここは、以前稲田地区のカシワ林で埋蔵文化財調査のため、表土（土嚢 500 袋分）を移植し、毎年在来植生の成長を促すために毎年継続して除草を行ってきた。

去年までは大して広くはない面積にオオアワダチソウは勢いよく繁茂し、全てを抜ききれず作業する我々もうんざりする量であったと記憶している。

ところが 2015 年、ついにオオアワダチソウを抜き尽くし（多分？来年も生えるだろうけど）在来植生の優勢勝ちという結果を得ることができました。

そしてレンリソウ、オオアマドコロ、ユキザサ　エゾクガイソウなどが元気に生えて明らかに周りの植生と異なります。表土移植の成果が出始めて嬉しくなるとともに、会員のあきらめない地道な作業の成果だと感じました。やったね！



秋は里山をつくろうプロジェクトの作業やモニ1000 の植物相、チョウ類調査のほか、エゾリスセンサスもあるよ。詳しくは行事予定を見てね！

エゾリスの会　会報 106 号　　発行日：2015.8.25
発行　エゾリスの会（事務局）
〒080-0027　帯広市西 17 条南３丁目６－14
☎0155-33-4223
E-mail　　mikka-1@octv.ne.jp
ホームページ　http://ezori3.wix.com/ezori
非公式ブログ　http://d.hatena.ne.jp/noken/

編集後記

この夏、帯広の森ではヤマグワの実が豊作であった。調査や作業の合間に黒く熟した実を集めては口の中に放り込む。口いっぱいに広がる酸味の効いた甘さは果樹園のベリー類と比べれば地味なものではあるが、これが結構病みつきになる。各地でヒグマの目撃が相次いでいるが、彼らにとってもヤマグワは大好物。ささやかな夏のスイーツに違いない。（さか）

エゾリス

会 報 第 107 号《印刷はモノクロ》

エゾリスの会は、1986 年に発足した環境系まちづくり団体で、野生小動物と人間とがより良く共存できる環境づくりを目指し、現在帯広の森で「里山づくり」、「動植物調査」、「観察会の実施」などの活動を行っています。

☆うっちーさんのエゾリス観察ルポ④　都市化によってエゾリスの季節感が無くなっている!?

☆秋の活動報告。「焚き火の会」と「環境交流会出展」

エゾリスの会を PR して
きました

とりあえず　焼けば楽しい　焚き火かな

うっちーさんのエゾリス観察ルポ④

都市化によってエゾリスの季節感が無くなっている!?

※このコーナーではエゾリスの生態研究を行っている北大生、内田健太さんから届いた旬な情報（研究や観察で考えたことなど）を連載しています。

秋が勝負♪

せっせと働くエゾリスの姿が愛くるしい時期ですね。あるイタリア人の研究から、リスたちの冬の生存や来年の子育ての成功は、秋の間に餌を蓄えておけるかにかかっていることが分かっています。なるほど、リスたちが必死なわけだ。

街だと季節感がなくなるのは動物も一緒

さて、今回はこの『季節』に関するお話です。皆さんは、日ごろどのように季節を感じますか？街にいると中々、季節を感じる機会が少ないですよね。この季節感の変化は、人間に限らず街の様々な生き物にも起きています。例えば、冬になっても渡りをしない鳥たち、子育ての時期がどんどん長くなる鳥がいます。これらは、都市の環境が人間によってコントロールされているためだと考えられています。

年中エサをもらえるリス（緑ヶ丘公園）

警戒心と季節の関係

そして、私はこの季節感の変化がエゾリスと人間の関係性（以前お話した人間に対する警戒心）にも見られることを発見しました。本来、生物の警戒心は季節で変化します。例えば、リスだと繁殖期の春は敏感になるので警戒心が高いです。一方、餌集めに忙しい秋は警戒心がグッと下がります。また、餌の量の変化も関係するそうです。実際、十勝の郊外のリスたちは、こうした警戒心の季節変化がちゃんとありました。それに対して、街のリスは一年中人間への警戒心が“低く安定“していました。子育ての時期や繁忙期だってお構いなし。

郊外の林で出会ったリス。
なかなか近くで写真を撮らせてくれません

何故なのか？これからの研究課題です

なぜ、こんな不思議な現象が起きているのか？それはまだ分かりません。おそらく、人間への慣れによるものでしょう。本当にそれだけ？栄養のある餌が一年中貰えるからかもしれません。天敵がいないからかも!?様々な可能性があります。こうした発見が新たな研究テーマの始まりにもなります。今後調べていきたいです。

うっちーさんも秋は勝負の季節？

秋はエゾリス調査の季節、私は 10 月から帯広に泊まり込んで調査しています。もし見かけたら、ぜひ声をかけてください。一緒にリスを追いかけましょう!!

☆焚き火の会報告。　秋のごちそうを楽しみました。

11 月 15 日（日）、朝から弱い雨。雨でもエゾリスの巣の調査はあります。調査をがんばったあと、有志で河川敷に移動して、橋の下で雨宿りしながら焚き火しました！

さて、今回焼いたものを列挙します。

・**プロセスチーズ**　これは傑作！プロセスチーズが大嫌いな人も、少し焼き目がつくくらいあぶると、味がナチュラルチーズ系にかわり、たくさん食べられます。おすすめ。

・**マシュマロ**　定番。

・**五平餅**　一度焼き、クルミ味噌をつけて焼きます。作者のＩさんは今回の焚き火にかけていたようです。私は６本くらい食べました。

・**チョウセンゴヨウ**　種子をちょっと炒って食べます。はじめて食べるＴさんはその旨さに納得。炒りすぎ注意。

・**バナナ**　薪ストーブに乗せます。若いバナナだと甘みが増さないことを発見。味は酸味のある芋です。塩でなおさら芋に。

・**カブ**　野菜のカブです。葉付きのまま、葉は燃やさないように火に入れます。丸焦げになったら固さを見て軍手などで焦げを落としてかじります。これがカブの最もおいしい食べ方です。五平餅用の味噌をつけると高級感が出ます。

・**ジャガイモ**　ぬれた新聞紙でくるみ、さらにアルミホイルでくるみ、火に入れます。バター＆塩辛が登場しました。

・**サツマイモ**　ダッチオーブンに玉砂利をつめ、その中に入れます、石焼き芋です。火から下ろすタイミングさえ合えば絶品です！

.今回は焚き火台を使いました。割り箸に刺して、かざすのが楽です

．とは言え、湯を沸かすなら、ストーブはあったほうが快適です。

.焼きリンゴ　通常のレシピで薪ストーブに乗せます。周りに炭をおいた方が均等に火が通るかも。

☆　「マンガでわかるエゾリスの会」環境交流会に出展しました。

11 月２１日（日）、とかちプラザを会場に行われた環境交流会に「マンガでわかるエゾリス会」と題し、展示ブースに出展してきました。

この会報に毎号連載している「裏エゾリスの会」の中からピックアップした作品を展示し、マンガを見るだけでエゾリスの会がわかる？！というテーマで来場してきた方たちに PR してきました。

マンガの原画展示や会報に使用しているイラストの塗り絵コーナーなど、難しいことは抜きでエゾリスの会の親しみやすさを表現したつもりですが、いかがだったでしょうか？

.４コママンガの読者が結構来場されていました。

会報に登場している僕たちが主役の展示でした。
作者のＥさん、ありがとうございました。

一粒で二度オイシイかも？！

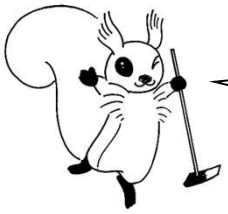
坂村堅二

10 月の里山をつくろうプロジェクトの作業は萩・女郎花のタネ蒔きでした。数年前から毎年一坪程度の表土を剥ぎ、在来種の種を播種して植生の回復を図ろうという取り組みです。

昨年の作業で、「剥がした表土をそのまま捨てておくのなら、ひっくり返してオオアワダチソウ群落の上に置いたら、繁茂を抑えられるんじゃね？」という題して「**一粒で二度おいしい作戦**」を決行しました。うまくいけば一坪掘り返す労力で二坪の在来種の植生を生み出す。果たして結果はいかに、、、、

今年、表土をひっくり返した部分には、大きなフキの葉っぱが広がっていました。作戦成功です！正直あまり期待はしていなかったのだけれど、嬉しさがこみ上げてきました。

里山づくりに王道はないと思っています。小さな取り組みをコツコツと積み上げていくしかありません。今後も思いついたアイディアはどんどん試すべきと思いました。



いよいよ冬の到来。冬は鳥類調査、恒例の新年会などがあります。また間伐は寒いけど、森を成長させる大切な作業です。詳しくは行事予定を見てね！

エゾリスの会　会報 107 号　発行日：2015.11.25
発行 エゾリスの会（事務局）
〒080-0027　帯広市西 17 条南 3 丁目 6－14
☎0155-33-4223
E-mail　mikka-1@octv.ne.jp
ホームページ　http://ezori3.wix.com/ezori
非公式ブログ　http://d.hatena.ne.jp/noken/

編集後記

先日、焚火台を買った。たかが焚き火にわざわざ道具を使うことに抵抗がなかった訳ではないが、使ってみて考え方が変わった。最小限のモノしか運べない山奥ならいざ知らず、車でアクセスできる場所ならば焚火台は正義だ。５０センチ四方の空間で好きなように薪をくべて、炎を見つめることができ、あとには何も残さない。罪悪感ゼロ！お試しあれ。（さか）